

西部地区環境市民会議が調べた環境の現状

西部地区は、西側から市街地に向かっていくつかの丘陵と北浅川や川口川が流れ、今熊山、金剛ノ滝、天合峰があり自然に恵まれた地域と言えます。これらの自然を守るため、大気汚染測定、川の水質調査、里山保全活動を行った結果、さまざまな生物が戻りつつあります。

当地区では「八王子市みどりの基本計画」に則り、八王子市景観100選に選ばれた「上川の里特別緑地保全地区」を環境教育の場として活用し、学習資料も兼ねたマップ作成も進めています。この里山は、四季折々の花が楽しめ、6月にはホタルが飛び交い、秋には棚田が黄金に輝き癒やされる場所です。

■ 西部地区の主な取組

1 稲作体験授業支援

棚田がある上川の里では、上川口小学校が食育や地域に根ざした教育の一環として位置づけている稲作体験授業を支援しています。支援は令和5年度で7年目になります。PTA、学校運営協議会、地元のNPOなどと協力し、代かき、田植え、稲刈り、ハザかけ、脱穀、精米を経て学校給食として活用されています。



稲作体験授業支援

2 親子里山探検隊 i n 上川の里

年2回、春と夏に開催される親子里山探検隊は、毎年応募者が多く人気の講座です。

春にはシュンラン、キンランを始め、ツルアリドオシやウグイスカグラなど多くの植物が観察できます。両生類では、春一番にヤマアカガエル、ニホンアカガエルがビオトープ（命が生まれる場所）に産卵し始めます。初夏にはゲンジボタル、ヘイケボタルが飛び始めます。



親子里山体験 i n 上川の里

3 環境フェスティバル

SDGs目標 ⑬「気候変動」⑮「陸の豊かさを守ろう」をテーマに、生物多様性に関連した写真をパネルで展示しました。森をはぐくむキノコの写真や、生態系内での食べる食べられるを示した食物連鎖などの写真を展示しました。

気候変動に関して学校稲作体験授業の水田が初めて水枯しました。



環境フェスティバル

4 河川・湧水の水質調査

川の水質調査は、毎年6月に行われる水環境の全国一斉調査を含む年2回、13地点で測定しており、令和5年度も継続しました。また、湧水の調査は8月に行いました。

5 大気汚染測定

高尾街道、陣馬街道の主要道路付近を中心とした地点で、年2回大気測定を行いました。なお、測定値は基準値内に収まっており、おおむね安定しています。

6 環境教育支援事業の実施

小学校の総合学習の一部として行われる、八王子の自然を体験する「川の学習」と「みどりの学習」を支援しています。

「川の学習」では、体験学習6校と、魚・水生生物・植物・石や鳥といった、児童が興味を持ったテーマに特化して学習する課題別学習を2校で実施しました。

「みどりの学習」では、上川の里で、生物多様性を学ぶ座学や、生物や植物の調査を行いました。



みどりの学習

7 自然体験講座

地区内の自然、史跡を巡る講座を7月と11月に行いました。

夏には高尾の森自然学校で昆虫採集や野鳥観察を行いました。秋には紅葉の元八王子を散策しました。

8 公園アドプト制度

令和2年度から公園課の公園アドプト制度に登録し、草が繁茂する時期、枯葉の落ちる時期など適時にあらい公園の清掃活動に取り組んでいます。



自然体験講座

9 川のクリーン活動

大沢川と城山川のクリーン活動を年2回行いました。川の景観の維持のため、継続して取り組んでいきます。

■ 特色のある取組

式分方小学校の4年生を対象に行われる環境教育において、生ごみの減量や、堆肥として生ごみを再利用することなどを通じて、ごみ減量の意識を向上させるための学習支援を行っています。

ダンボールコンポストを活用した堆肥作りを行い、児童の作業後にメンテナンスを担当しました。式分方小学校支援は11年目となりました。作られた堆肥は、学校での野菜作りや花壇作りに活用されています。